

取扱説明書：Ver 2.00

SD-828

ウィンゼル2



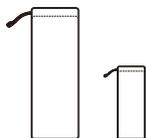
この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用テントです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容

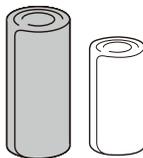
セット内容に設営時必要なペグは付属しません。別途計14本を用意することが必要です。全長30cm以上、もしくは打ち込み長さ25センチ以上の頑丈な鍛造ペグをお勧めします。また、別途ポールやロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。



クロスフレーム×2
前室用フレーム×1



フレームケース×1
バッグケース×1



フライシート×1
インナーテント×1



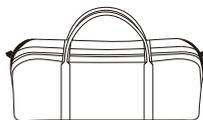
リヘア用ロープ



リヘアパイプ×1



オプションルーフ



キャリーバッグ×1



取説冊子(本書)×1

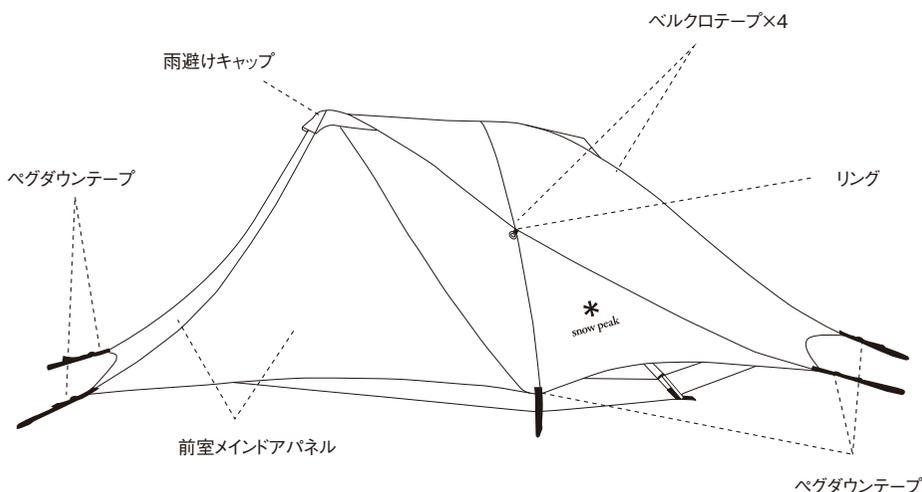
本製品にはジュラルミンペグが付属されておりません。お手持ちの鍛造ペグを別途ご用意してください。

【鍛造ペグの条件】

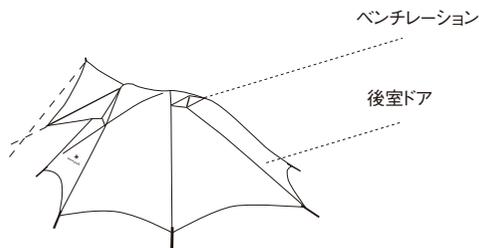
全長30cm以上、もしくは打ち込み長さ25センチ以上の鍛造ペグを合計14本以上をご用意ください。

各部の名称

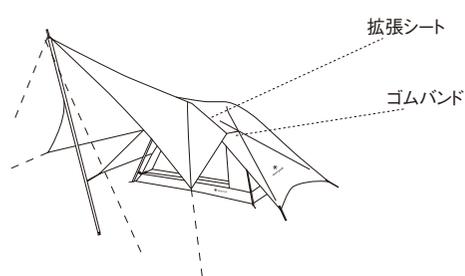
フライシート(正面)



フライシート(背面)



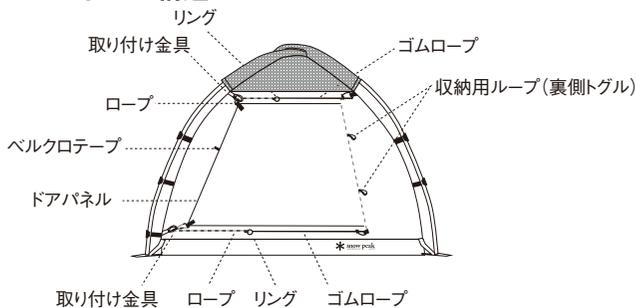
フライシート(跳ね上げ)



インナーテント



ジッパーレスドアの構造



安全上の注意事項 ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃烧式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災のおそれがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用の前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象条件には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりテント内が高温になり、熱中症などの危険があります。お客様の昼寝の際になど、細心の注意を払ってください。
- 風が吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。
- ご使用の前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。



⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しにより本体表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴をあけてしまう場合があります。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返りなどで思わぬ事故に繋がるおそれがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ペグやペグダウンテープ、張り綱でしっかりと固定して使用してください。
- テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度不足を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 本製品インナーテントは通気性向上のため、多くのメッシュを使用しています。フライシートが結露した際に水滴がインナーテント内に入るおそれがあります。ご了承ください。
- 本製品インナーテントに取り付けするオプションルーフの耐荷重は1kgまで、それ以上の重量物を収納すると生地の破れやパーツが破損するおそれがあります。

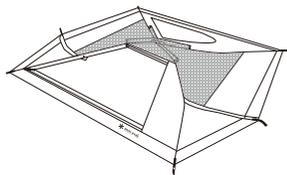
メンテナンス方法

- 本製品にはポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、若干の色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや異臭、生地の色うつり、生地の劣化などのトラブルの原因となりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで汚れを落としてから保管してください。
- ※フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- またフレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系潤滑剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書を良くお読みください。
- ご使用により広囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- 次回の使用に備え、付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。

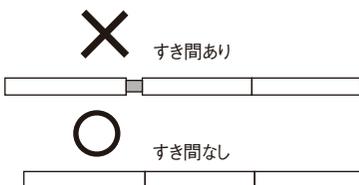
設営の手順

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。また、付属品が全て揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やボールの破損や事故の原因になります。本書をよくお読みになりご使用ください。

- ① インナーテントを平らな場所に広げます。
※テント本体の出入り口は2か所あります。ジッパーレスドアパネルのある側が前室となり、メインの出入り口となります。あらかじめ風雨などを予測し、前室の方向を決めておく必要があります。
※基本的に前室は風下に向けます。風上に向けると、風雨が侵入するばかりかドアを開ける際に突然風が入り、本体を破損する場合があります。



- ② 2本のクロスフレームを伸ばし、接続部分をしっかりと連結します。
※フレームの連結部分にすき間ができないように、しっかりと差し込んでください。



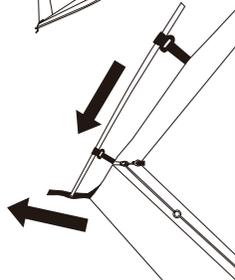
- ③ 2本のクロスフレームをインナーテントのクロスフレーム用スリーブに1本ずつ、ゆっくりと送り込みます。



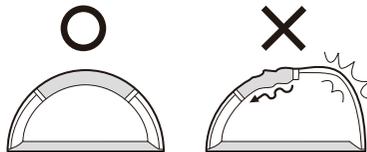
- ④ クロスフレーム片側の先端をグロメットに差し込んでください。



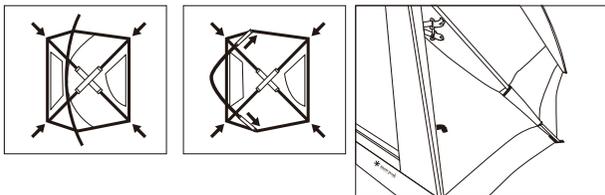
- ⑤ 差し込んだクロスフレームの反対側の先端をグロメットに差し込んでください。
※スリーブの位置が中央になるようにスリーブを引っ張り、調整しながらゆっくりとフレームを差し込んでください。一方から強引に押し込むと反対側が大きく湾曲し、フレームが破損する原因となります。よく注意しながらグロメットにフレームを差し込んで下さい。



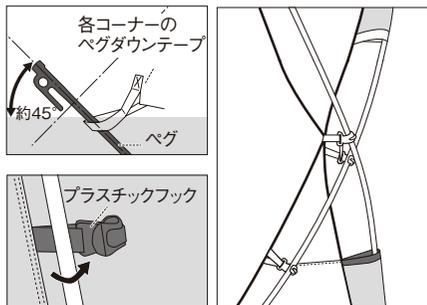
- ⑥ ④、⑤と同じ要領でもう一本のクロスフレームの両端のグロメットに差し込んでテントを立ち上げてください。1人がクロスフレームの交差部を持ち上げると楽に立ち上げることが可能です。



- ⑦ 前室フレームをインナーテント両側のスリーブに通し、ゆっくりと送り込みます。スリーブに通し終えたら、前室フレームの先端をグロメットに差し込みます。反対側の先端も同様に差し込みます。

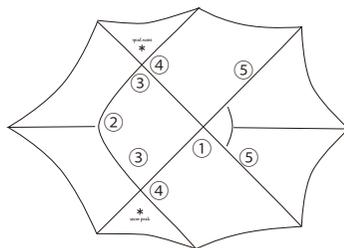


- ⑧ 本体に付いているプラスチックフックをそれぞれのフレームに計11か所を引っ掛けてください。裾部に付いているベグダウンテープにベグを通し、ベグダウンします。
 ※ベグは最後まで打ち込んでください。
 ※ベグは無理に打ち込むと、曲がりや折れなどの破損につながります。少しずつ打ち込み、石などの障害物にあたった場合は場所を変えてから打ち込んでください。
 ※ファスナーを閉めずにベグダウンすると、ドアが閉められなくなることがあります。

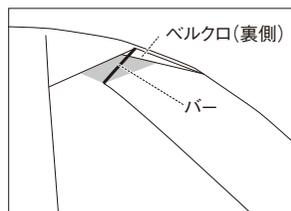


クロスフレーム部にフックの引っ掛け方

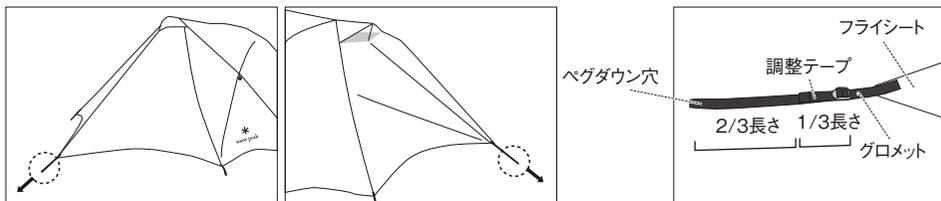
- ⑨ 前室・後室の方向を確認し、フライシート内側についているベルクロテープを番号順にフレームに巻き付け、フライシートを被せます。
 ※テント撤収の際は、ベルクロテープの外し忘れにご注意ください。ベルクロテープが、フレームについてそのままフライシートを強く引っ張ると、ベルクロテープ破損の原因になります。



- ⑩ ベンチレーションのバーを起こしてベルクロ固定します。

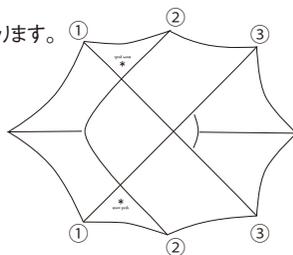
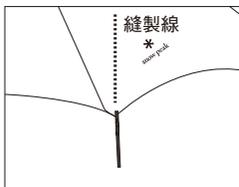
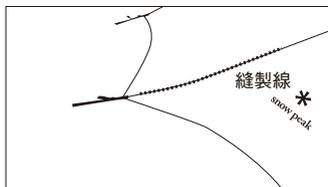


- ⑪ フライシートの前室・後室先端のベグダウンテープの長さを調整して、先にベグダウンします。フライシートの弛みを取る為に調節テープを引き、テンションをかけます。



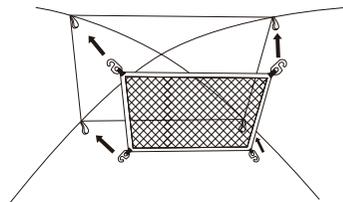
- ⑫ 前後ベグダウンしましたら、⑩と同様でベルトの長さを調整し、フライシート残りの6ヶ所を番号順にベグダウンします。フライシートの弛みを取る為に調節テープを引き、テンションをかけます。

※フライシートのベグダウン位置はフライシートの縫製線の延長線上になります。



※ベグダウンテープの引きすぎにご注意ください。引き過ぎますとフライシートやフレームに負担がかかり、破損するおそれがあります。

- ⑬ インナーテント内側の天井にオプションルフトを付けます。オプションルフトの四つ角にあるフックをインナーテント天井の四つ角についている黒いループに引っ掛けて取り付けます。

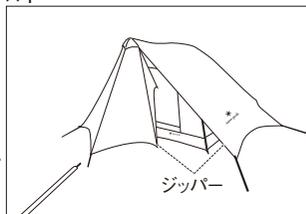


前室跳ね上げの手順

本製品には前室跳ね上げる際に必要なポールや張り網、ベグは含まれておりません。別途ご用意ください。

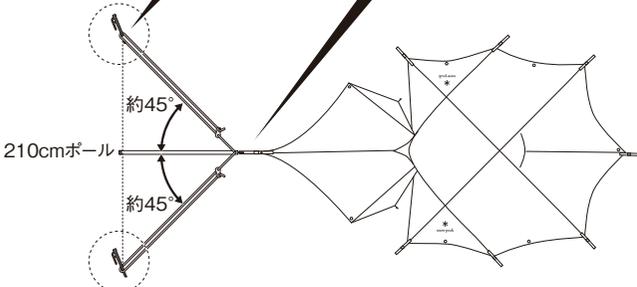
- 推奨ポール:ウイングポール210cm×1
- 推奨張り網:9m以上の二又用ロープ×1, 3mシングルロープ×2
- 推奨ベグ:全長30cm以上、もしくは打ち込み長さ25センチ以上の鍛造ベグ×4

- ① フライシート前室両側のジッパーを開け、先端のベグダウンテープをベグから外します。アルミポールを図のように先端をテント側にし、フライシートの稜線と一直線になるように置いてください。



210cmポール

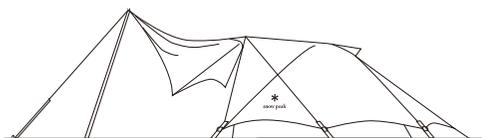
- ②
-



210cmウイングポールの先端をフライシート前室側にあるベグダウンテープのグロメットに差し込み、その上から二又用9mロープをセンターループを掛けてください。その後、ロープをウイングポールを中心に約45°開いた方向へロープの先端とウイングポールの下端が一直線になる位置まで伸ばし、返し部分をベグダウンしてください。

- ③ 各ロープを一度緩めた後、自在の位置でロープの長さを調節しながら210cmウイングポールを立ち上げ、二又用9mロープと3点で自立するように210cmウイングポール先端をフライシート前室の内側へ倒して自立させます。

※ロープの長さが足りず、無理にウイングポールを立ち上げるとポールやフライシートの破損の原因となります。ロープに多少力が加わる程度に調節してください。

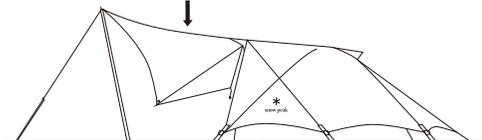


横から見た図

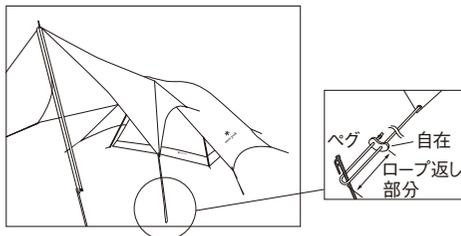
緩み

- ④ ロープの自在の位置を調節しフライシートの稜線が1割程度緩まる状態にします。

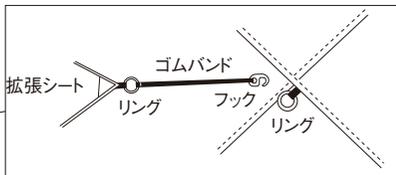
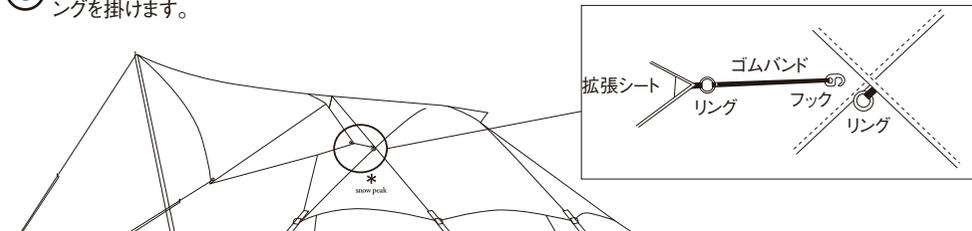
※この緩みが完成時の美しい曲線を作ります。



- ⑤ フライシート前室の両側のグロメットに3mのシングルロープを結び、ロープ返し部分と残り部分を同じ長さ程度に自在を調整し、フライシートジッパーの延長線上にペグダウンします。

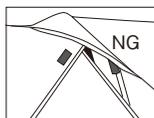
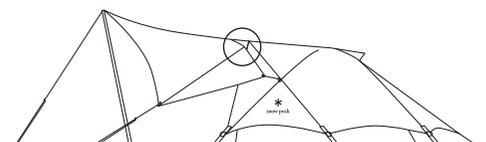


- ⑥ フライシート前室に両側にある拡張シート部分先端のフックをフライシート両側のクロスフレーム位置にあるリングを掛けます。

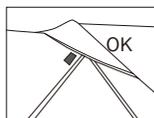


- ⑦ フライシートとテント前室フレームと繋ぐ部分を確認し、フライシートの拡張シートと雨避けキャップの間に生地が返すことによる空気がないように調整してください。

※拡張シートと雨避けキャップの間に空気がないと雨をテント内に浸水するおそれがあります。

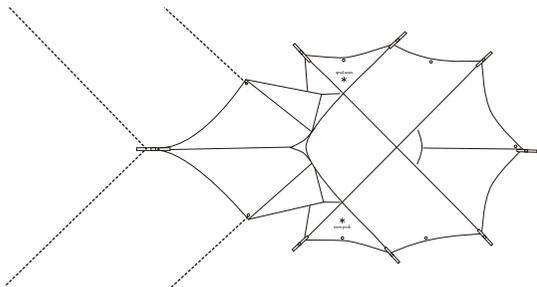


隙間あり



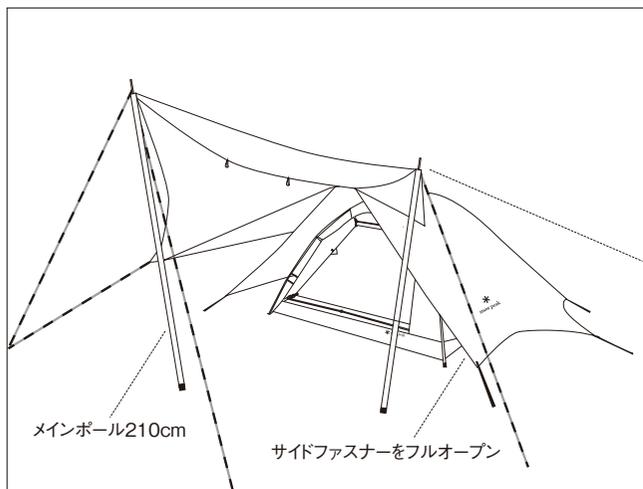
隙間なし

- ⑧ 各コーナーに取り付けられたロープにある自在の位置を調節してテンションをかけてください。
- ※ロープの引き過ぎに注意してください。強く引き過ぎている場合は、その方向に大きなシワが発生します。シワの出るコーナーのロープを緩めて、全体のテンションバランスを調整してください。
- ※フライシートが緩んだ状態やシワが入った状態で使用すると、本来の機能が十分に発揮されず、風を大きく受けて倒れたり、雨が流れず溜まってしまふ等、大変危険です。



〈応用編〉

基本跳ね上げ用の210cm ポールの場所を変えたり、サブポール数を増やすことで、より様々なスタイルを楽しむことができます。その例をご紹介します。



サブポールをサイドファスナーを開けたコーナーのグロメットに差し込み、ロープでテンションをかけてください。

使用ポール(別売)
 メインポール 210cm×1
 サブポール 150cm~180cm×1

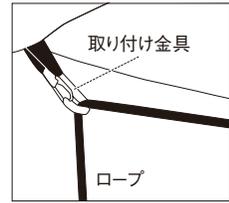
※他にも、前室下部に付くグロメットや、前室2ヶ所ファスナーの開閉、拡張シートの活用で、様々なスタイルが楽しめます。

- ⚠注意
- スタイルアレンジで、サブポールを高くセッティングした場合、メインポールとのポール高低差が減り、雨水が溜まる危険性があります。天候状況を良く把握した上、設営してください。
 - 開口部を大きく設営した場合、風向によっては、本体が風を強く受けて倒れたりする危険性があります。風向・天候状況を良く把握した上、設営してください。

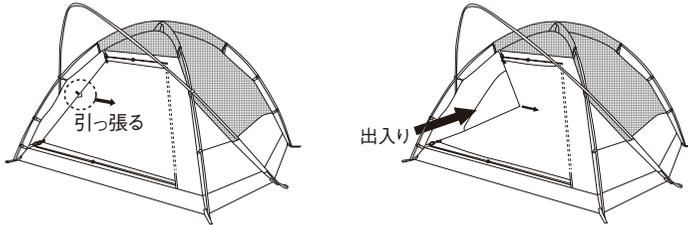
ジッパーレドアの操作方法

本製品はファスナーを使わず出入りが可能なドアパネル(以下ジッパーレドア)がついています。ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。本ドアパネルの操作方法は以下の説明に従って使用してください。無理な操作は本体の破損や事故の原因になります。

- ① ドアパネル上部と下部2か所の取り付け金具へドアパネルに付いているロープを取り付けてください。



- ② ドアパネル左側縁を持って右側に引っ張ってドアを開けます。右方向へ引っ張りながらインナーテントに入ります。ドアパネルを放すとドアが自動的に閉まります。
 ※出入りする際に上下のロープやゴムロープに引っ掛からないよう十分ご注意ください。
 ※このドアパネルは完全に隙間なく閉めることができません。ドアパネルとインナーテント間の隙間を気になる方は裏側のメッシュドアを閉めてください。
 ※無理な力でドアを引っ張ると部品の破損や事故の原因になりますのでおやめください。

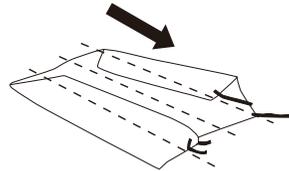
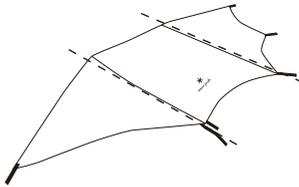


- ③ ジッパーレスドアを外したい際にはドアパネル上下のロープを取り付け金具から外し、ロゴ印字側に巻き、トグルと収納ループで収納してください。

インナーテントとフライシートの畳み方

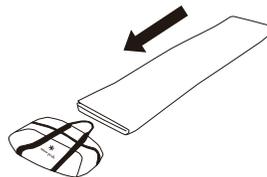
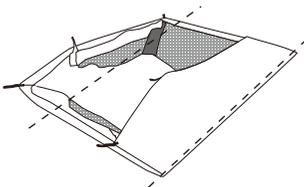
●フライシートの畳み方

- ① フライシートを稜線に沿って半分に折ります。コーナーの頂点に合わせて両端を内側に折ってください。
- ② 縦に3つ折りして矢印の方向で巻いてください。
 ※収納ケースの幅に合わせてください。



●インナーテントの畳み方

- ① インナーテントを広げ、出入り口の無いコーナーから内側に3つ折ってください。
- ② 縦に矢印の方向で巻いてください。
 ※収納ケースの幅に合わせてください。



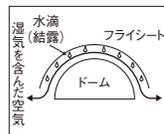
撤収時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 撤収は設営と逆の手順で行ってください。インナーテント内、フライシート内にもものが入っていないこと、すべてのジッパーが閉じられていることを確認してから作業を開始してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- フレームをグロメットから外す際にフレームがハネ返るおそれがあります。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
- フレームはスリーブから取り出す際に、押し取り出してください。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ベグはすべて抜き、汚れを落としてベグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリーバッグ等を傷付けることがあります。
- 跳ね上げ用の210cmウイングポールはキャリーバッグに収納することはできません。付属のフレームケースに入れて、キャリーバックに幕本体を入れた後にバックルをフレームケースのベルトを通して固定してください。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。本製品は通常のテントより優れた通気性と透湿防水素材を使用していますが、使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご了承ください。



撥水・防水性能について

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせています。いずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や、耐久性)に若干の差が見られる場合があります。ご了承ください。
- 撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水性が衰えてきたときは市販の撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜まりなどと長時間接触していると雨水が浸み、部分的に色が変わることがあります。

紫外線の影響について

- 本製品にはフライシートの生地にUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。
- ※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
 - 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。

こんなときは

Qキャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A:応急処置として速やかに付属のリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

A:傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q:撥水が衰えてきたとき

A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q:生地にカビが発生したとき

A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。1.素材の経年劣化による損害など商品の寿命 / 2.改造および粗雑な取扱いによる故障 / 3.取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障 / 4.不測の事故による商品の故障 / 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障 / 6.ゴミやさびによる故障 / 7.分解したことによる不具合の発生または破損 / 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合 / 9.摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障 / 10.他社製品との組み合わせによる故障

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

SD-828 ウィンゼル2

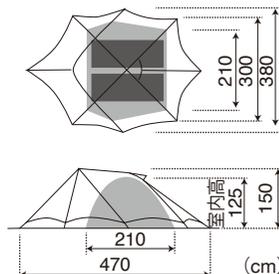
○材質:フライシート/75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧3,000mmミニマム・撥水加工・UVカット加工、インナーウォール/68Dポリエステルタフタ、ボトム/210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム/A7001(φ12.5mm)

○付属品:テント本体、本体フレーム(×2)、前室フレーム(×1)、リペアパイプ、リペアロープ、リペアゴムロープ、オプションルフト、キャリアバッグ、フレームケース、ペグケース

○キャリアバッグサイズ:60×30×25(h)cm

○重量:5.1kg

○対応人数 2名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス
☎0120-010-660(9:00~17:00)
Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA

Product Manual : Ver 2.00

SD-828

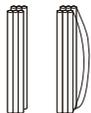
Winzeil 2



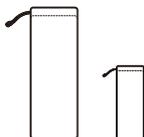
Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a tent for camping. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

Set Contents

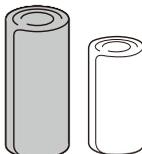
The pegs necessary for setting up the tent are not included in this set. You will need a total of 14 pegs. Durable forged pegs with a total length of at least 30 cm or a driving length of at least 25 cm. You should prepare some poles, ropes, and other accessories in order to make setup easier. Pegs, ropes, tensioners and similar accessories wear with use, so it is recommended to always carry spares.



Cross frame×2
Vestibule frame×1



Pole case×1
Peg case×1



Fly sheet
Inner tent



Repair rope



Repair pipe×1



Optional loft



Carry bag

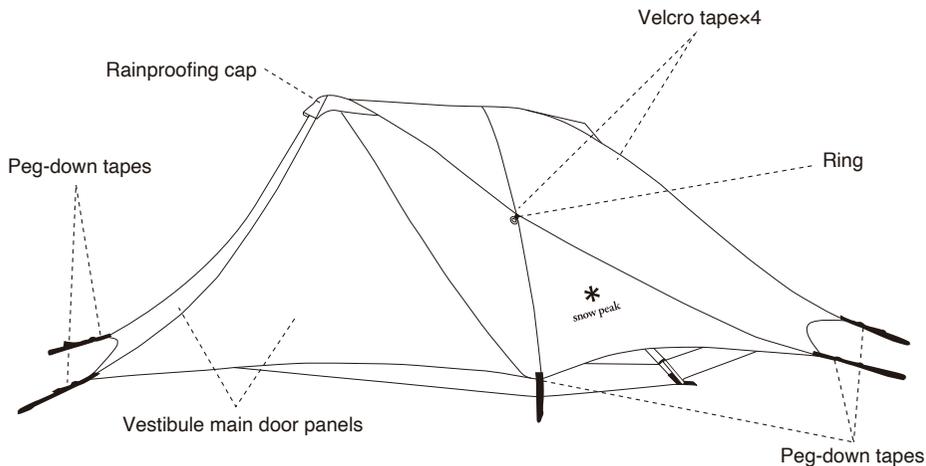


Instruction manual
(This manual)

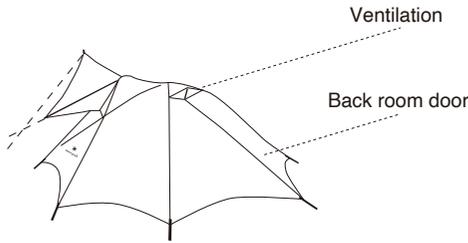
This product does not come with any duralumin pegs. Use your own forged pegs with this product.
 [Required forged pegs]
 Prepare a total of 14 or more forged pegs with a total length of 30 cm or more or a driving length of 25 cm or more.

Name of the Parts

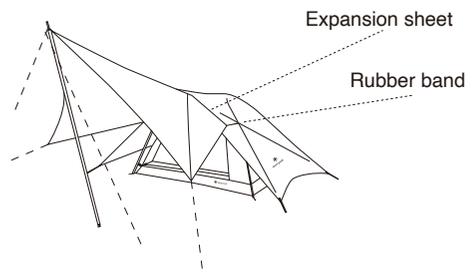
Fly sheet (front)



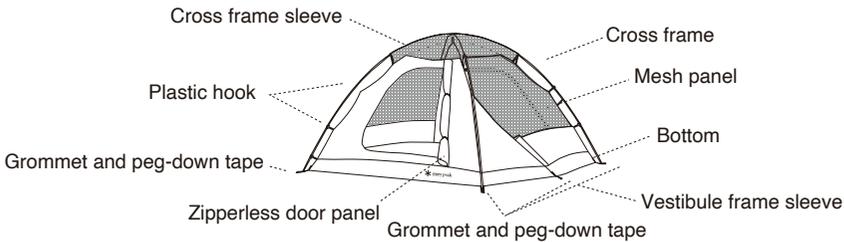
Fly sheet (back)



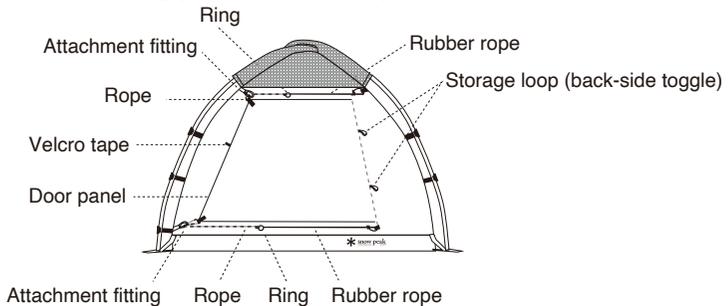
Fly sheet (flip-up)



Inner tent



Structure of zipperless door panel



Safety Precautions Before use please read thoroughly to ensure safety and to avoid accidents.

⚠ DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The tent material is not flame-proof. Do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves or heaters, or open flames such as matches, candles, lighters or cigarettes, inside the tent. The use of such heat or light sources inside a small, enclosed space is very dangerous and may result in fire, oxygen deficiency or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel, or flammable items for replenishing the fuel, inside the tent.



⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Pay close attention to the weather. If extreme weather is in the forecast, pack up camp and evacuate to a safe place.
- Do not bring heated items into the tent when they are at high temperatures. Inside the tent, very high temperatures may cause heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are asleep inside the tent.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the tent. Choose an area where there is no chance of avalanches, landslides, wind gusts or sudden flooding.
- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.



⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not intended to be in permanent use.
- Sunlight can cause the surface of the Fly to heat up, potentially causing low-temperature burns.
- Do not assemble or use the tent close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the tent fabric.
- Firmly hold the tent/tarp pole when assembling and disassembling the tent/tarp. Unexpected accidents may occur due to the Pole ends recoiling, etc., so ensure that the surroundings are safe, with no other people in the vicinity.
- Use pegs, peg-down tape, and guy lines to ensure that the product is secured in place.
- If the tent is left in the sun for long periods, the materials may fade in color or the fabric may deteriorate and lose strength. Do not leave the tent set up permanently.
- The inner tent of this product uses mesh in most parts for the purpose of improving airflow. Condensation on the fly sheet may enter as water inside the inner tent. Please note that beforehand.
- The optional loft attachable to the inner tent of this product can only take up to 1 kg of load. Storing any objects over that weight may lead to tears in the fabric or damage to parts.

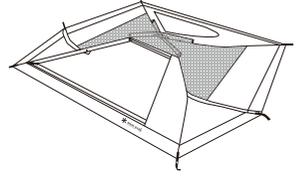
Maintenance & Storage

- A combination of Polyester fabric is used for this product. Taking the material characteristics into consideration, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet.
- Before storing, the product should be cleaned and dried sufficiently. If the product is stored when wet, the build-up of mold, bad odors, color migration and material deterioration will occur. Dry the product sufficiently in a breezy and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
- *Do not flip the tent over with poles still in the sleeves, as the poles may break, and cloth damage may occur.
- Do not allow sap to stick to the product, as sap cannot be completely cleaned off. Avoid placing the product under trees that may drip sap. Using solvent or other substances in an attempt to remove sap will damage the material and coating.
- Clean and dry the surface of the poles before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant, applying an excessive amount of lubricant will stain the cloth. Ensure that the cords inside the poles are not pulled unnecessarily.
- Store the product in a well-ventilated area, away from heat and moisture.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand or dust may cause wear or damage.
Clean the zipper with a brush before use. Apply small amounts of silicone lubricant to the zipper regularly to ensure smooth movement. Do not apply excessive amounts of lubricant as it will leave stains on the cloth.
- Minor damage to the cloth can be mended with repair tape that can be purchased from your local outdoor gear retailer. Refer to the product instructions for the correct use of such repair tape.
- Depending on the conditions during use, the tent material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.
- Carefully maintain and inspect the product (including accessories) in preparation for the next time the product will be used.

Instructions for Use

Follow the instructions below to set up and disassemble. Practice set up before camping and check to ensure all the accessories are functioning. Excessive setup and tear down may damage the body or poles, potentially resulting in an accident. Please read this manual carefully before use.

- ① Spread the inner tent on a flat surface.
- * The main tent has two entrances. The side with the zipperless door panel is the vestibule, which is the main entrance. Consider wind and rain when determining which direction the vestibule should be facing.
 - * In general, the vestibule should be facing downwind. If the vestibule is facing upwind, not only will it allow entry of wind and rain, but also create a risk of sudden wind coming in when the door is open, which may result in damage to the main unit.

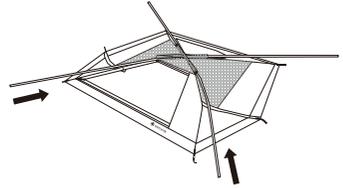


- ② Extend the two cross frames and then firmly join the connecting parts.

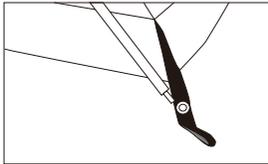
*Make sure to connect them without leaving gaps at the joints



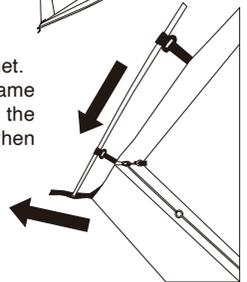
- ③ Slowly pass the two cross frames through the cross frame sleeves of the inner tent one at a time.



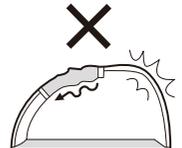
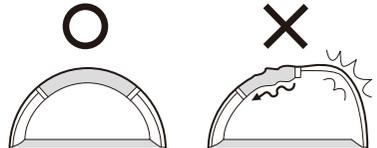
- ④ Insert the tip of one side of the cross frame into the grommet.



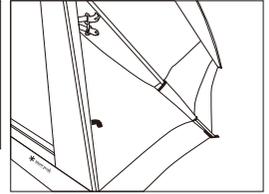
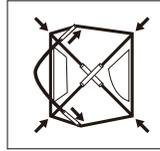
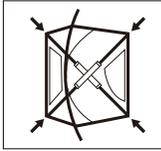
- ⑤ Insert the tip of the opposite side of the inserted cross frame into the grommet.
- * Pull the sleeve so that its position comes to the center. Slowly insert the frame as you adjust the position. Forcing in the cross frame from one side causes the other side to bow strongly, which can result in frame breakage. Use caution when inserting the frame into the grommet.



- ⑥ Following the same procedure as ④ and ⑤, insert both ends of the other cross frame into the corresponding grommets to erect the tent. Having one person hold up the intersecting part of the cross frames makes it easier to erect the tent.



- 7 Slowly pass the vestibule frame through the sleeve on both sides of the inner tent. After passing the frame through the sleeve, insert one of the tips of the vestibule frame into the grommet. Insert the tip on the other side the same way.

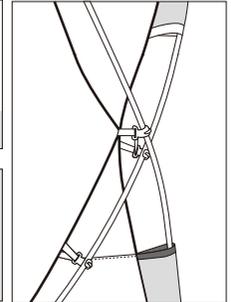
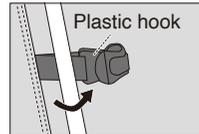


- 8 Attach the plastic hooks on the main unit to the corresponding frames (total of 11 locations). Pass the pegs through the peg-down tapes on the hem when pegging down.

*Please drive the pegs all the way into the ground.

*If the peg is driven in too hard, it may bend, break, or otherwise be damaged. If the peg hits an obstacle such as a stone, change the location of the peg before hammering it in.

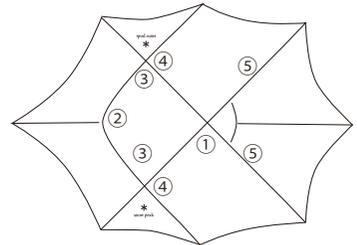
*If you peg down the door without closing the zipper, you may not be able to close the door after the tent is set up.



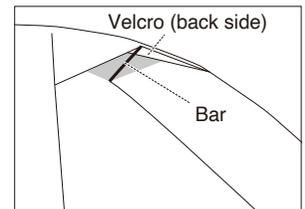
Attaching the hooks to the cross frames

- 9 Check the direction of the vestibule and back room, and wind the velcro tapes on the inside of the fly sheet onto the frames in correct order. Put the fly sheet over the frames.

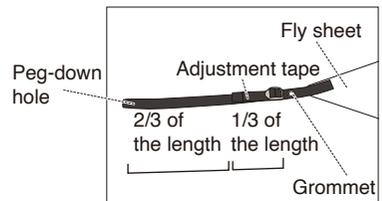
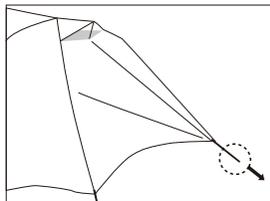
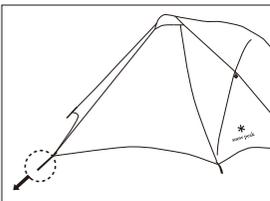
* Make sure to remove the velcro tapes when taking down the tent. Pulling the fly sheet hard while the velcro tapes are still on the frames can cause the velcro tapes to tear.



- 10 Pull up the ventilation bar and fix it in place using velcro.

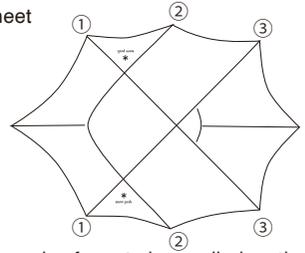
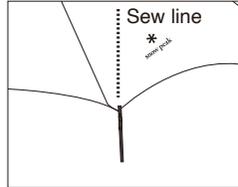
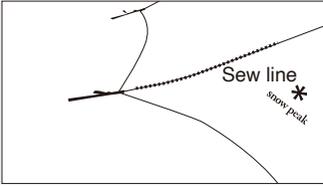


- 11 Adjust the length of the peg-down tapes at the ends of the vestibule and back room of the fly sheet, and peg these down first. Pull the adjustment tape to remove any slacks in the fly sheet and apply tension.



- 12** After pegging down the front and back sides, adjust the length of the belts and peg down the remaining six locations of the fly sheet in the same way as **10** in the correct order.
Pull the adjustment tape to remove any slacks in the fly sheet and apply tension.

* The peg-down locations of the fly sheet are on the extensions of the fly sheet sew lines.



* Do not excessively pull the peg-down tapes. Pulling too hard causes excessive force to be applied on the fly sheet and frames, leading to damage.

- 13** Attach the optional loft to the ceiling, which is the inner side of the inner tent. Attach the hooks on the four corners of the optional loft to the black loops on the four corners of the ceiling of the inner tent.

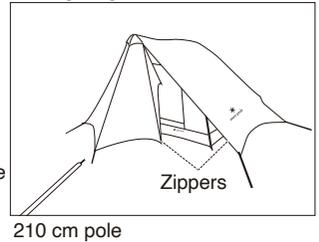


Flipping up the vestibule

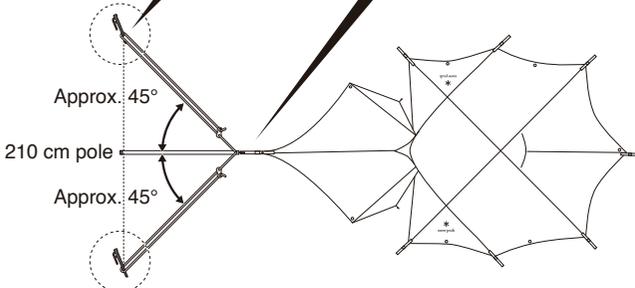
This product does not include any poles, guy lines, or pegs required for flipping up the vestibule. Purchase the necessary accessories separately.

- Recommended pole: 210 cm wing pole×1
- Recommended guy lines: forked rope 9 m or longer×1 and 3 m single rope×2
- Recommended peg: forged peg with a total length of 30 cm or more or a driving length of 25 cm or more×4

- 1** Open the zippers on both sides of the vestibule of the fly sheet and remove the peg-down tapes at the ends from the pegs. Place the end of the aluminum pole on the tent side as shown in the illustration so that it lies along the extension of the ridge line of the fly sheet.



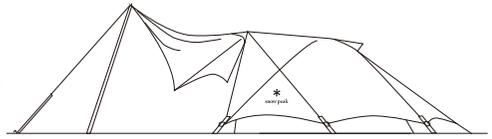
- 2**
-



Insert the end of the 210 cm wing pole into the peg-down tape grommet on the vestibule side of the fly sheet, and then hook the center loop of the forked 9 m rope over it. Extend each ropes in the direction where it opens up approximately 45° from the wing pole, to the position where the end of the rope and the bottom end of the wing pole are aligned in a straight line, and peg down the return part.

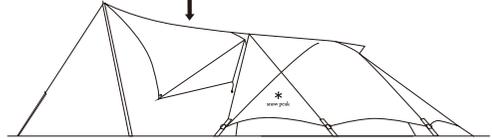
- ③ After slacking the ropes, erect the 210 cm wing pole while adjusting the length of each rope at the tensioner. Lean the tip of the 210 cm wing pole toward the inside of the vestibule so that the pole stands on its own, supported by the forked 9 m rope.

* If the rope is too short, forcing the wing pole to stand up can lead to damage to the pole and/or fly sheet. Adjust the tension so that appropriate force is applied to the rope.



View from the side

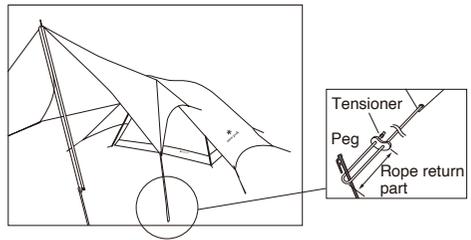
Slack



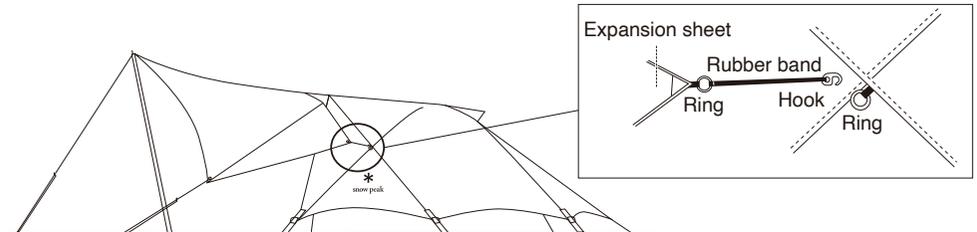
- ④ Adjust the position of the tensioner of the rope to slacken the ridge line of the fly sheet about 10%.

*This slack creates the beautiful curve when the tarp setup is complete.

- ⑤ Tie a 3 m single rope to the grommet on each side of the vestibule of the fly sheet. Adjust the tensioner so that the rope return part and the remaining part are about the same length. Peg each of them down on the extension of the fly sheet zipper.



- ⑥ Attach the hooks at both ends of the expansion sheet on the fly sheet vestibule to the rings at the cross frame positions on both sides of the fly sheet.



- ⑦ Check the part that connects the fly sheet to the tent vestibule frame. Make adjustments so that there is no gap between the fly sheet expansion sheet and the rainproofing cap created by folded fabric.

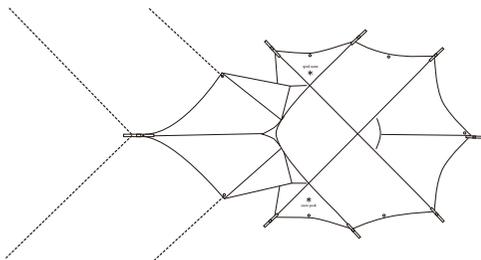
* A gap between the expansion sheet and the rainproofing cap can cause rain to enter inside the tent.



8 Adjust the position of the tensioner of the rope attached to each corner to apply tension.

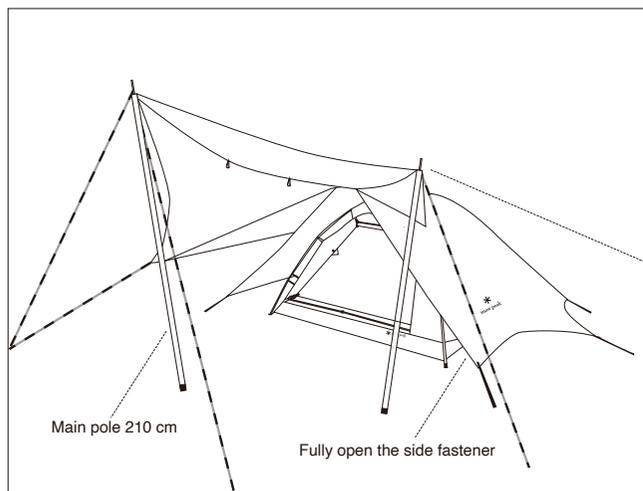
* Do not excessively pull the ropes. If any rope is pulled too strongly, a large wrinkle will form in that direction. Loosen the rope at the corner where a wrinkle is present to adjust the tension balance of the entire setup.

* Using the fly sheet with a slack or wrinkle compromises the fly sheet's intended performance, which can result in falling when exposed to strong winds, rainwater pooling on the tarp, or creating other very dangerous conditions.



<Other possible setups>

You can enjoy a variety of setups by changing the location of the basic 210 cm pole and/or increasing the number of sub-poles. The following is an example of a variation setup.



Insert a sub-pole into the grommet at the corner where the side fastener is open. Apply tension using the rope.

Poles used (sold separately)
Main pole (210 cm)×1
Sub-pole (150 to 180 cm)×1

* You can enjoy other setups by using the expansion sheet, the grommets attached to the bottom of the vestibule, and opening or closing of the two fasteners on the vestibule.

⚠ CAUTION

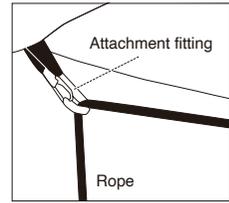
- In a variation setup, if a sub-pole is set up too high, the reduced height difference between the main pole and the sub-pole can cause rainwater to pool on the sheet. Select an appropriate setup based on weather conditions.
- A setup with a large entrance has a risk of the main unit receiving strong wind and falling down, depending on wind directions. Select an appropriate setup based on wind direction and weather conditions.

Using the zipperless door

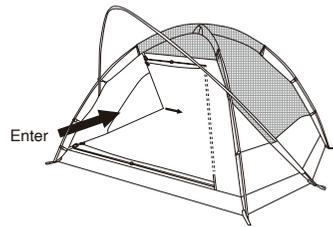
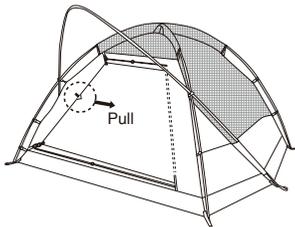
This product is a door panel that allows you to access to the tent without using a fastener ("zipperless door"). Inspect each part to check for anything out of the ordinary, prior to use.

Use this door panel according to the following instructions. Inadequate use may result in damage to the main unit and further lead to accidents.

- 1 Attach the rope on the door panel to the two attachment fittings at the top and bottom of the door panel.



- 2 Hold the left edge of the door panel, and then pull towards the right to open the door. Enter the inner tent while pulling the door panel. Release the door panel to automatically close the door.
 - * Be careful not to catch on the top and bottom ropes and rubber rope when entering and exiting.
 - * This door panel cannot be sealed completely. If you are concerned about the gap between the door panel and the inner tent, close the mesh door on the back side.
 - * Avoid pulling hard at the door, as it may cause breakage of parts and further lead to accidents.

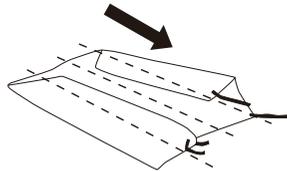
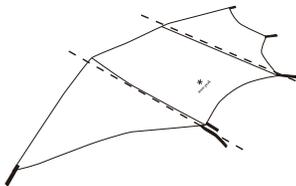


- 3 To remove the zipperless door, remove the rope from the top and bottom attachment fittings and wind it with the logo print inside to store it with the toggle and storage loop.

Folding the inner tent and fly sheet

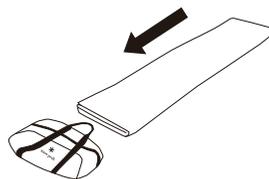
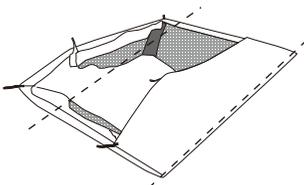
•Fly sheet :

- 1 Fold the fly sheet in half along the ridge line. Fold both sides inside while aligning with the corners.
- 2 Fold the sheet in three vertically and roll it up in the direction of the arrow.
 - * Fold it to match the width of the storage case.



•Inner tent :

- 1 Spread the inner tent and fold the corners with no entrance inside, in three.
- 2 Roll it up in the direction of the arrow.
 - * Fold it to match the width of the storage case.



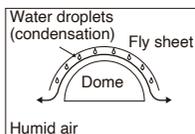
Precautions for disassembly

- Please make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
- For taking the setup apart, perform the procedure in reverse order. Before starting work, make sure that there is nothing left in the inner tent or fly sheet and that all zippers are closed.
- If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the shelter.
- Frames may spring back as they are being removed from the grommets. Do not let go until the frame is straight.
- Push the frames out to remove them from the sleeves.
- Always start folding the frames near the middle. Folding from the ends may cause the shock cord to stretch or break, or the frame to bend or break.
- Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case with their heads facing down. Store all frames in the frame case. The frame should be stored with its head facing down in the frame case. If the frame is exposed, it may damage the fabric or the carry bag.
- The 210 cm wing pole for flipping up the fly sheet cannot be stored in the carrying bag. Put it in the supplied frame case, and after putting the shelter components into the carrying bag, fix it in place by passing the belts of the frame case through the buckles.



Regarding Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures. In smaller spaces such as the inside of a tent or shelter, water vapor concentration is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. While this product features superior ventilation compared to ordinary tents and uses permeable waterproof materials, it is impossible to prevent permeation of water and moisture completely. Please note that beforehand.



Water-Repellent and Waterproof Functions

- A combination of polyester fabric is used in this product. Both materials are treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water-repellent capacity and durability may vary slightly due to the characteristics of each material.
- The water-repellent finish will lose effectiveness after repeated use. When the water repellence decreases, please use a water-repellent spray purchased from your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.
- Materials with high waterproof capacity are used in this product. However, if the materials are in contact with pools of water on the ground for long periods, the water may be absorbed into the material, potentially resulting in discoloration.

Regarding the Effect of Ultraviolet Rays

- A UV protection treatment has been applied to the fly material. The UV protection treatment will lessen the permeation of ultraviolet rays, which are harmful to humans, and slow the deterioration of the fly.
- *The UV protection treatment does not completely shield humans from ultraviolet rays or stop the deterioration of the material's strength.
- When the tent material is exposed to sunlight for long periods, color degradation or strength deterioration may occur. Do not leave the product assembled permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

FAQ

Q: What can be done if a pole is broken while the tent is in use?

A: For an emergency treatment, use a repair pipe or splint, and secure with vinyl tape. Or fully disassemble the tent for repair.

Q: What can be done if the tent/tarp cloth is damaged or rips while the tent is in use?

A: Seal the area with packing tape on both sides or use a tent repair kit that can be purchased from your local outdoor gear retailer. When using a repair kit, read the instructions carefully.

Q: What can be done when the water-repellent finish degrades?

A: The water-repellent finish will lose its effectiveness with repeated use. When the material's water repellence decreases, please use a water-repellent spray that can be purchased from your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.

Q: What can be done if mold develops on the tent material?

A: Wipe the affected area with a dry cloth and sterilize with alcohol. When the material has a color change due to mold, this color change cannot be removed. Removing mold with excessive force may result in further deterioration of the material and the coating finish.

Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following: 1. Material deterioration caused by age. / 2. Damage caused by modifications or rough handling. / 3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual. / 4. Damage caused by unexpected accidents. / 5. Any damage other than defects in the manufacturing process. / 6. Damage caused by dust or rust. / 7. Damage and defects caused by dismantling the product. / 8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks. / 9. Deterioration or failure of parts due to friction. / 10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

Repair

● If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. ● When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean. ● Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred. ● Transportation and repair costs are determined as follows: 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak. / 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Spec

SD-828 Winzeil 2

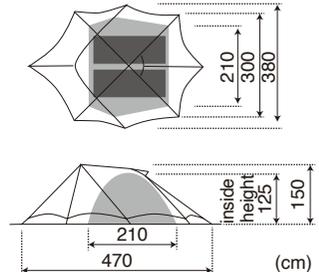
● Material: Fly Sheet: 75D Polyester, PU Coating 3,000mm, Water Repellent, UV Cut Processing Inner Tent: 68D Polyester, Bottom: 210D Polyester Taffeta, PU Coating 1,800mm Frame: Duralumin A7001

● Accessories: Fly Sheet, Inner Tent, Poles(x2), Front Room Pole(x1), Repair Pipe, Repair rope, Repair rubber rope, Optional loft, Carrying case, Pole Case, Peg Case

● Carry Bag Size: 60x30x25(h)cm

● Weight: 5.1kg

● Capacity: 2 persons



Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA